

平成29年度 第4回 八尾市空家等対策協議会 会議録

日 時：平成30年2月14日（水）午前10時～11時

会 場：八尾市役所 8階第2委員会室

出席者：森本会長、池田副会長、田中委員（八尾市長）、清水陽子委員、山田委員、
神丸委員、林委員、鈴森委員、菅野委員、増田委員、今井委員、山本委員、
清水善正委員、岩本委員

欠席者：辻野委員、西田委員

1 開会

2 議事等

(1) 八尾市空家等対策計画（案）について

- 事務局より、資料2、資料3について説明。

会長：

- アンケートの調査結果は、市民の方から請求があれば配布されるのか、あるいは、ホームページで公表されるのか。
- パブリックコメントで5件あったことは八尾市民の意識の高さを反省していると思われる。
- 協議会としての計画案を承認すると、「案」がとれてホームページにいつから公開されるのか。

事務局：

- アンケート調査結果については、来庁していただければ見ていただくようにして、請求があればお渡しするよう準備をする。また、ホームページにも掲載する。
- ホームページでの公開は、議会報告後になるので3月下旬を予定している。条例については、4月1日から施行したいと考えており、それに間に合うようにしたい。
- （補足説明）前回会議で、各団体の相談先のアドレスを掲載してはどうかという意見があり、わかる範囲で掲載している。

(2) 八尾市空家等の適正管理に関する条例（素案）について

- 事務局より、資料4について説明。

会長：

- 現行と改正案に、アンダーラインがあるが、それぞれが対応しているというところか。

事務局：

- そのとおりです。

委員：

- 第5条、建物と土地の所有者が異なる場合、自身も相談を受けているが、「解決に向けて協力するように努めなければならない」というのは、土地の所有者にはどの程度のことをお願いできるのか。

事務局：

- 法に定める空家等の中に土地も含んでいるので、法に基づく指導は、土地所有者にも適用できる規定になっているということであるが、現実には、なかなかそうはならない。空家対策をしていくなかで、土地所有者から建物所有者に働きかけてもらわないと解決に結びつかないので、「協力を努めなければならない」は、そういったときに、市に協力してくださいということと、土地所有者が持っている建物所有者の情報などを提供していただくという意味で書いている。

委員：

- 建物所有者の所在がわからない場合で、建物が特定空家になるような危険空家の場合、行政はその空家を撤去するよう指導したいが、所有者がわからない状態で、略式を進めるとなった時に、土地所有者にある程度の負担が求められるのか、それは無理だということか。自治体によって対応が違うという印象がある。八尾市の場合はどうか。

事務局：

- これまでの八尾市の事例では、建物所有者の不明はなかったが、会社が所有し、会社が倒産して社長名義になっている事例はあった。その場合、土地所有者が裁判を起こして、名義の権利を取り上げて、最終的には土地所有者が建物を壊して売却された。

(3) 八尾市空家等対策協議会部会について

- 事務局より、資料5、資料6について説明。

会長：

- 資料 6、第 7 条で部会委員があるので、事務局から案が出していただく。
- 事務局より、部会委員の案について説明。

会長：

- 部会委員は、事務局案で進める。部会は実務的に担当する部分がある。また、内容等は第 1 回部会の開始時に決まってくると思う。

副会長

- 空家等対策計画(案)については本日、承認となったが、文字等の細かい修正については事務局一任でよいか。
- 部会、部会委員については、条例改正前であるので、改正を前提とした上でということによいか。

事務局：

- 4 月に条例改正し、その後、特定空家等ので判断についてご協議をいただきたい物件があるので、部会を開催したい。

(3) その他

- 空家対策計画は、3 月末ごろに各委員に送付。
- 条例は 3 月議会に上程して 4 月より運用を開始する。
- 協議会、部会は必要に応じて、来年度開催したいと考えている。また、本協議会は、来年度、計画に基づく運用の報告も考えている。

委員：

- 協議会の 4 回開催で空家対策をまとめていただき感謝します。平成 30 年度の施政運営方針、予算については、議会に提出しており、代執行の予算についても来年度に組み入れたので報告したい。
- 予防啓発の指摘については、4 月から組織改正で情報発信係を設置し、若手も活用して情報発信を進めていきたい。
- 予防の視点では、市政運営方針の中で、まちの安心・安全、市民の健康づくりなどいろんな場面で発表している。
- また、対策計画に基づいてしっかりと運用していきたい。他市の進んだ事例にも負けずに、一歩前に出た取り組みを進めていきたい。

- 来年度も協議会の開催を通して、八尾の空家が1軒でも少なくなるようにしていきたい。